

東京都調布市

史跡下布田遺跡 整備基本計画

【概要版】



調布市布田に所在する下布田遺跡は、縄文文化から弥生文化へと移行する縄文時代晩期の重要な遺跡として、昭和62年、国史跡に指定されました。

縄文時代晩期は、全国的に人口の少ない時代でした。河原石を丁寧に敷き並べた方形配石遺構や子孫繁栄を祈った石棒集積遺構は、祭祀や呪術が盛んに行われていたことを伝えています。あわせて、弥生時代の墓を思わせる合口土器棺墓や、数々の石器や土製品などの遺物も発見されています。

また、布田崖線の豊かな自然環境は、市街化が進む調布市において希少な緑地です。

このたび調布市教育委員会は、縄文時代晩期の集落遺跡である下布田遺跡を「ふるさと調布への愛着を育む史跡公園」として開園することを目指し、史跡下布田遺跡整備基本計画を定めました。

整備の基本方針

整備テーマ

みんなで育む・感じる・発見する縄文のふるさと

育む ～ 大切に守り伝えていく郷土の遺跡
貴重な遺跡と自然を守り次世代へと継承していくために、みんなで育む意識を醸成します。

感じる ～ 縄文人の暮らしに思いをはせる空間
下布田遺跡に関連する歴史学習と体感の場をつくり、縄文人の暮らしに思いをはせる機会を提供します。

発見する ～ 縄文から未来を見つめる「温故知新」の場
創意工夫による活動や調布の魅力発信、交流を深めるイベント開催など、多様な学びと発見につながる史跡公園とします。

縄文のふるさと ～ みんなでつくる史跡公園
誰もが心安らぎ、何度も訪れたくなるくつろぎのある公園とします。

基本方針

1 史跡の確実な保存

地下にある遺構や遺物を保存するために、盛土や樹木の整理等を行います。

2 縄文時代の生活技術と精神世界を表現する

方形配石遺構等を復元し解説します。体験学習により縄文の暮らしと精神世界を伝えます。

3 自然環境を活かした憩いの空間

日常的な自然散策等に利用しやすい、住宅地の中の貴重な緑地として公開します。

4 来園者の利便性向上と体験型活動の充実

史跡公園の見学や体験学習等に必要な施設を設置し、来園者の利便性向上を図ります。

5 市民参加による管理運営体制づくり

市民や各種団体の参加を促し、協働による管理運営体制を構築します。



史跡下布田遺跡整備イメージスケッチ